



2016(平成28)年度を迎え、生活を育てる働きを拡げていきます。

園長 山下 勝弘

2016(平成28)年度も5月の終わりを迎え、白河めぐみ学園・白河こひつじ学園ともに新しい生活づくりが具体化に向けて、進められています。

白河めぐみ学園では、4月に新しい利用児童1名を迎え現在25名、また白河こひつじ学園でも、同じく4月に2名の利用児童が入所し、現在22名の児童が生活しています。

利用児童の中には、まもなく満20歳に到達する児童が両学園でそれぞれ2名が生活しています。満20歳を迎える前に、新しい生活の場所を確保する必要があります。家族、行政関係者、相談支援員のみならずとも協力して、望ましい生活の場所を準備するのは、困難な問題に直面しているのが現実です。

このような状況下ですが、両学園共に職員は利用児童の生活づくりに努力をしています。学園の建物面積の限界から来る居住環境の狭さを除けば、利用児童の生活水準、生活内容は一定の水準を超えた豊かさを維持していると考えられます。今年度は、狭い居住環境であって、豊かなお互いの生活を育てあう、心のつながりと、相互理解、共に生活する支えあいを大切にするを重視した生活づくりを目標にしています。

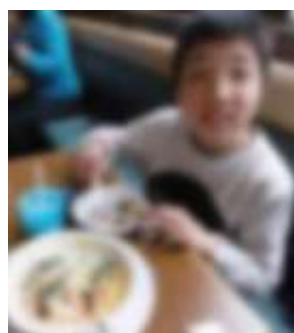
今年度も職員は、この両学園の利用児童の生活づくりを基本にした支援サービスの働きに努力をしていきます。ご家族をはじめ、関係するみなさまのご理解とご支援を心からお願いいたします。

親子レクリエーション大会



5月5日に、太陽の国体育館でめぐみ学園こひつじ学園合同の「親子レクリエーション大会」を行ないました。借り物競争、変身ゲームではカードの指示にしたがって物を探したり、変身したりしながら、ゴールを目指しました。玉入れや綱引きでは皆、力を合わせて精一杯頑張りました。笑顔で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

ゴールデンウィーク園外活動



ゴールデンウィークには男の子と女の子のグループに分かれ、黒磯のレストランにて昼食外食を行ないました。お昼ご飯の後は、那須や白河の市内で散策を行ないました。お腹も満足し、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

誕生会(4月)



4月生まれの友達のお祝いをしました。
主役の渡部歩さんは、皆からお祝いの歌を歌ってもらい、プレゼントも受け取って、とても嬉しそうでした。

苦情解決委員会

子どもたちの生活や環境、職員の対応などについての苦情を受け付け、解決に取り組めます。お気軽にご相談ください。

また、牧人会の苦情解決第三者委員会も設置されています。苦情受付箱「みんなのこえ」への投書や受付窓口などに直接相談するほか、第三者委員に相談することもできます。

